

産業能率大学 経営学部

技術と経営	履修年次	1	
	単位	2	
豊田 貞光	配当期	前	
	授業方法	講義/ オンデマンド	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>製造業は国内雇用や貿易立国日本を支えてきた日本経済の基幹産業である。円高是正やデフレ脱却に対する期待感を背景に企業業績は改善している。しかし、現場力の強みに根差した我が国製造業は、中長期的に国際競争力の低下が懸念されている。歴史的に我が国は江戸時代から技術面でも進んだ国であり、明治を迎え工業化に力を入れてきた。明治の人が描く百年後の姿は、現在半分以上が現実のものになっている。日本で生まれた商品でヒットしたものは数多い。どのような商品やビジネスモデルがあり、それらを生んだ会社はどのような経緯で現在まで発展し続けられる会社なのか、毎回異なる業界の商品を取り上げて解説を行い、更にDVD動画視聴をすることにより理解度を深める。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・製造業種に関心を持ち、将来、製造業も視野に入れたキャリア形成の一環として、日本企業が持つ固有技術への理解を深めることができる。 ・サービス業においても、単に表面上のメニューやコンテンツだけでなく、背後にあるビジネスモデルがあることを理解できるようになる。 ・グローバル化している「ものづくり」の分野で、他国の戦略やビジネスのやり方を理解し、世界情勢を理解できる。 			
成績評価の方法			
定期試験、課題提出、小テスト、授業出席および授業外学習の実施・達成度により総合的に評価する。授業には積極的に参画し、企業の「固有技術力」と「経営」に関し、自らの意見を持ち、自らの思考により試行錯誤することを評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイダンスおよび日本の置かれた経済・産業動向	8	国民性の違いによる商品仕様の差別化(日本の伝統食と技術)
2	明治の人が描いた100年後の世界と現状との比較	9	ブランド構築とマーケティング戦略(インスタント食品)
3	日本で生まれたヒット商品の数々	10	ビールの技術・味の出し方と製法
4	新規技術開発とビジネスモデルの革新	11	最先端技術と応用事例(炭素繊維の世界)と小テストの実施
5	国策と日本製造業の置かれたポジショニングと韓国企業の経営	12	世界に広がる日本の食文化(回転寿司の発想力)
6	価格設定と競合商品との差別化(薄型ディスプレイの技術)	13	日用雑貨品の技術と環境対応への技術
7	携帯電話の衰退・スマホの成長、ウェアラブル機器の動向	14	他社との協業戦略による日本の製造業の将来展望